

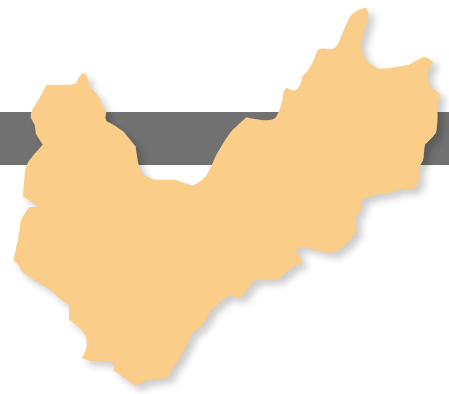


宮崎県

みまた

よい人、よい町、よい政治。議員が編集した手づくり広報紙

こんにちは 議会です。



no.82

平成28年2月15日号
発行/三股町議会



表紙写真：第1回みまたん霧島パノラマまらそん(平成28年1月24日)

TOPICS
トピックス

- 12月定例会(12月7日~12月18日) ■ 町政を問う 一般質問(9名)
- シリーズ お隣さん元気(中原・花見原)

歳入歳出予算の総額98億9,308万円

12月定例会

町議会では12月議会を、12月7日から12月18日までの12日間で開催した。今回の議会上程された議案は15議案、追加議案1議案、各常任委員会にそれぞれの議案を付託し審議した。議案の主なものは条例の改正9議案、27年度補正予算が4議案、意見書案3件となっている。賛成多数及び全会一致で可決した。

一般会計補正決算

歳入歳出予算の総額96億379万3千円に、歳入歳出それぞれ2億5509万1千円を追加し、98億9308万4千円とした。

【付帯意見】

議会費の需用費（印刷製本費）について議会で要求した通り確保すべきではないか。

▼賛成多数で可決

特別会計補正予算

- 国民健康保険
- 介護保険
- 公共下水事業

▼全会一致で可決

条例改正

- 条例の一部を改正する条例について
- 使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 収入証紙条例の一部を改正する条例について

○道路占用料徴収条例の一部を改正する条例

○町営住宅管理条例の一部を改正する条例

○単独住宅条例の一部を改正する条例

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

▼全会一致で可決

○三股町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

【付帯意見】

マイナンバーは重要な個人情報である。その利活用で情報漏えいを防ぐガイドラインと法による罰則の適用があることを周知徹底すべきである。

▼賛成多数で可決

○三股町寡婦医療費助成・災害弔慰金の至急等・重度心身障害者医療費助成・子ども医療費助成・母子及び

父子家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

▼賛成多数で可決

財産取得について

文化会館ホールで使用するプロジェクターを購入

【付帯意見】

6社による指名競争入札が行われたが、4社が指名辞退

▼全会一致で可決

先決議案

工事請負契約の変更について

▼全会一致で可決

意見書

○マイナンバー制度の円滑な運営に財源確保等自治体の負担軽減を求める

○介護報酬の再改定を求める意見書を求める

○森林による二酸化炭素吸収源対策の財源確保を求める

▼全会一致で可決

追加議案

町長等の給与の減額に関する条例

▼全会一致で可決

訂正とお詫び

前号（No81）の『こんにちはは議会です。』におきまして間違いがありました。

お詫びして訂正いたします。

【No81の2ページ】

×固定資産評価委員選任同意↓

○固定資産評価審査委員選任同意

×木佐貫克己氏↓○木佐貫克美氏

【No81の6ページ】

小見出し『長田町営住宅の現状は』に対する答弁者が町長となっていたが、正しくは都市整備課長であった。

【No81の10ページ】

小見出し『旭ヶ丘運動公園野球場へ同志社大学ら5団体が合宿希望』に対する答弁が都市整備課長だけの発言となっていたが、教育課長が発言した内容まで含んでいた。

議会事務局からのお知らせ

3月議会は、3月1日からの予定。

町民の方の多くの議会傍聴をお待ちしています。

市町村議会議員研修報告

福田新一議員



▲市町村アカデミーにて

10月28日から30日まで2泊3日千葉の市町村アカデミーにおいて市町村議会議員特別講座政策コース研修に参加してきました。北海道から沖縄まで総勢63名参加の演習でした。今回は議員としての立ち位置、そして行動方針の真髓を体得しようという心構えで臨みました。30代から70代の全国議員の中で新人議員の自分ほどのレベルにあるか色々意見交換や討議を行う中で自分を値踏みすることもできました。5〜6人の小グループが編成され「人口減少社会への対応と地方創生」を全体のテーマとし「わがまちの特性を活かしたまちづくり」というサブテーマで演習です。議会における政策立案、議員はいかに考え行動すべきか自主的に意見交換や討議を行い現状

の問題点課題を明らかにしその解決対応策を検討して政策提言として取りまとめました。そして最後は、全員の前で発表し質疑応答、意見交換を行いました。今回の研修を通して政策立案を検討する時、目的、手段、どうしたいのかということを確認しておかないと実践に入ったとき行動がぶれてしまい、成果達成はできないと痛感しました。将来像「自立と協働で創る元気なまち三股」を目指し誠意をもって率先して行動に移していきます。今回全国にネットワークを持てたことは、今後の議員生活において様々な面でプラスになると思います。

平成27年 第6回 12月定例会 表決結果

◎は賛成 ○は反対 一は欠席

※議長は可否同数の場合を除き、表決には加わりません。

議案番号	議案名	結 果	森 正 太 郎	楠 原 更 三	福 田 新 一	池 邊 美 紀	堀 内 義 郎	内 村 立 吉	指 宿 秋 廣	重 久 邦 仁	池 田 克 子	山 中 則 夫	桑 畑 浩 三	福 永 廣 文
91号	三股町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例	可決	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	議長職のため表決には参加しない
92号	三股町税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
94号	三股町収入証紙条例の一部を改正する条例	可決	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
97号	三股町寡婦医療費助成に関する条例等の一部を改正する条例	可決	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	
100号	平成27年度三股町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
意見書第6号	マイナンバー制度の円滑な運営に係る財源確保等自治体の負担軽減を求める意見書	可決	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

上記以外の議案第93号、第95号、第96号、第98号、第99号、第101号から第106号まで、意見書第7号、第8号については全会一致のため未記載としております。



一般質問は9人。TPP問題、町財政問題、マイナンバー問題、道路補修問題、子育て支援問題と、熱の入った議論が展開された。9月定例会質問に引き続き12月議会にて、さらに深く追求する質問もあり、真剣味が感じられました。

内村 立吉議員 …………… 5p 掲載

- ① TPP交渉大筋合意の受け止め方は。
- ② 上米公園の駐車場を増設する考えはないか。
- ③ 県畜産共進会、全国和牛能力共進会状況は。

池邊 美紀議員 …………… 6p 掲載

- ① 町債が膨らんでいるが今後の見通しは。
- ② 長田峡駐車場拡張対策は。
- ③ 町内のフリーWiFi整備はできないか。
- ④ ICT事業者誘致と起業応援はできないか。

森 正太郎議員 …………… 7p 掲載

- ① マイナンバーカードは申請しないといけないのか。
- ② 寡婦控除のみなし適用のあり方は。

重久 邦仁議員 …………… 8p 掲載

- ① 社団福祉法人に捜査のメス。
- ② 農業用水、排水路事業整備計画はあるのか。

指宿 秋廣議員 …………… 9p 掲載

- ① 県道の補修に町から県へ積極的な依頼をすべきではないのか。
- ② 今市児童館の建替計画はあるのか。
- ③ 三股中西側に歩道の建設をする計画はないのか。

堀内 義郎議員 …………… 10p 掲載

- ① 殿岡生活改善センター協議結果はいかに。
- ② TPP大筋合意について農業に対する影響をどう考えるか。
- ③ 教育の日、家庭の日の状況、今後の取り組みは。

楠原 更三議員 …………… 11p 掲載

- ① 総合戦略と町民憲章の関係は。
- ② 地域コミュニティ希薄化対策は。
- ③ 労力向上への検証と対策は。
- ④ 文化財指定にむけた進捗状況は。

池田 克子議員 …………… 12p 掲載

- ① 子育て支援にスマートフォンの活用を。
- ② 給食センター内の衛生管理対策は万全か。
- ③ 給食センターの建替計画はないか。

福田 新一議員 …………… 13p 掲載

- ① 地方創生への取組状況を具体的に。
- ② 地場産品ならびに6次産業化とは。
- ③ PDCAサイクルのチェック内容は。
- ④ 町長の心構えは。

12月議会一般質問

一般質問 内村 立吉議員



質問

TPP交渉大筋合意の受け止め方は

町長

関係機関と歩調を合わせ対処していく

問

TPP交渉について、農産物で譲歩を重ね、大筋合意に踏みきった。本県、本町の基幹産業は農畜産業である。TPP交渉大筋合意についてどのように受け止められているか。

町長

TPPは幅広い分野の中で新しい分野のルールを構築するものとおもわれる。本町の基幹産業である農業分野に関しては、県の説明会や配布された資料を精査して、関係機関と歩調を合わせ対処していく考えである。

産業振興課長

TPP交渉大筋合意により関税の引き下げが見受けられる。農林水産省は多くの品目で影響は限定的であるとしている。品種改良や農業施設の整備など安定供給対策、輸入品に対する競争力の強化が必要であるという。

政府は、総合的な政策実現にむけた主要政策をうちだしている。

上米公園駐車場を増設する考えは

問

パークゴルフ場の増設の広さ、いつオープンするか。

都市整備課長

広さは0・6ヘクタールであり、8月下旬か9月にはオープンできる予定である。

問

上米公園の駐車場を増設する計画はないか。(パークゴルフ場増設に伴ない、人の往来も多くなる。)

都市整備課長

今のところ駐車場増設は考えていない。

問

上米公園の下の広域農道を梶山方面からくると急カーブになっていて非常にあぶない。長期的、安全面を考慮して、広域農道の下の方に駐車場を作り、清流園の方の道路を利用し、出入り口にしたらどうか。

町長

今後、パークゴルフ場の増設が、どのように影響するのか課題として検討する。

県畜産共進会、全国和牛能力共進会状況

問

県畜産共進会肉牛平均成績は。

産業振興課長

出品中110頭枝肉重量496・8K B.M.S. 8・7 枝肉単価3040円である。

問

平成29年9月全国和牛能力共進会が、宮城県仙台市で、行なわれる。本町は肉牛日本一の町である。来年1月から候補牛の導入にはいる。県の支援を要請してもらい、町の支援もできないか。

産業振興課長

J A 都城と協議して、全国和牛共進会の対策協議会の中で検討をし、前回に並ぶような成績を残したい。J A、市、町で動いているところである。

問

高齢者の事故が、多発している。対策がとられているか。

高齢者の事故対策は

町長

本町の高齢者の事故防止策については、警察署との連携を図りながら、都城交通安全協会三股支部を中心に、事故防止に取り組んでいる。

一般質問 池邊 美紀 議員



質問

町債が膨らんでいるが今後の見通しは

町長

財務諸表を見据え、適正な行政経営を進める

問

ここ数年で大きく町債が膨らんでいるが今後の見通しは。

町長

指摘のように大型事業が目白押しで合計76億の公債費残高となった。歳入は緩やかな景気回復による増加が見込めるが大きな伸びは期待できない。一方歳出は社会保障関係費、少子高齢化、子ども子育て支援の繰り出しが増加していくので、行政サービスと事業の選択を行う適正な行政経営を行っていく。

長田峡駐車場は

問

駐車場拡張のために隣接する谷の埋め立てを行えないか。

町長

現地は自然公園であり、工事の試算では約1千万円がかかる。費用対効果を勘案し近くの田を購入するというほうが良策だと思うが、地元との理解、熱意と計画を示してもらうことで検討できる。

問

庁舎内のフリーWi-Fiの整備は。

町長

現在図書館で12月から試験運用を実施。庁舎内の計画はないが図書館の状況を検証して検討したい。

問

町内のフリーWi-Fi整備はできないか。

町長

スマホやタブレットの時代なので必要性があれば検討する。

フェイスブックは

問

現在の状況と今後の活用は。

町長

現在登録が869名。H26年3月から2・6倍になっている。今後も幅広くPRにつとめる。

要望

インスタグラムのアカウントも取得し積極的にPRすべき。

ホームページは

問

18歳以上選挙を見据えて他団体でやっているような小学生

向けのホームページを作成すべき。

町長

効果が薄いと考えられるので、授業などで三股町の歴史・概要や魅力について学べる機会を作る。

ICT事業者誘致と起業応援

問

フリーランスの環境整備と起業補助金の創設はできないか。

町長

町では「ネットなお仕事誘致・創出事業」を進めている。起業補助金については現在の空き店舗対策事業などで対応し、国の制度、創業支援事業で優遇金利など起業を促進していきたい。

要望

奄美大島のフリーランス2000人育成事業があるので参考にし進めるべき。



一般質問 森 正太郎 議員



質問

マイナンバーカードは申請しないといけないのか

町民保健課長

罰則はないが、高齢者等の身分証明に有用

問

重大な個人情報であるマイナンバー（個人番号）について、住民から戸惑いの声が寄せられている。

住民に交付することは、高齢者、障がい者、子どもも含めた住民ひとりひとりに、情報の徹底管理を押し付けることにならないか。

マイナンバーカード（個人番号カード）を申請しないことで住民にデメリットがあるか。

町民保健課長

申請しないことに罰則等はない。番号の利用も運転免許証を持っている方なら『通知カード』と『免許証』で足りる。

自分のマイナンバーが手元にないと、アルバイト等での手続きが滞る可能性が考えられる。

※e-Taxシステムを利用して税の申告を行っている人については、マイナンバーカードがないと今後利用できなくなるおそれがあります。

問

『今現在身分証明書を持たない人』がカードを作れば便利だが、作らないから不便になるということではない。

また、業者などからマイナンバーの提示を求められても、教えていかどうかの判断は難しい。役場では、その事で手続きが滞ることは絶対にならないようにしてもらいたい。

またそのことを教えないことで仕事に就きにくいという状況も起きないよう指導するべき。

マイナンバー制度が住民に周知徹底されるまで、カードの交付は延期しはどうか。

町民保健課長

指摘の件は謙虚に受け止めざるを得ないが、現在申請されている方の多数は必要性を認識されていると思われる。免許証を持たない高齢者等、身分証明の際に困っている方もある。適正な処理を考えながら制度運用していく。

問

本町では、ひとり親家庭に対するさまざまな補助が行われているが、いわゆる未婚の母には、夫と離婚または死別した女性に

寡婦控除のみなし適用は

対する税制上の寡婦控除が適用されていない。本町において結婚歴の有無でこうした補助の格差があるか。

町民保健課長

児童扶養手当等の補助は差別なく行っているが、寡婦控除は国の制度に基づいて実施している。

問

近年、未婚の母に対しても税の寡婦控除がされたとみなしで、保育料や公営住宅の家賃等に適用する自治体がある。本町でも理不尽な格差をなくすために寡婦控除のみなし適用制度を創設できないか。

町長

各自治体でみなし適用という形でとりあげているのならば、本町としても十分勉強し、制度設計なども含めて検討する。



一般質問 重久 邦仁 議員



質問

社団福祉法人に捜査のメス

福祉課長

警察の捜査が進行中であるため12月までは様子を見まもる

問

社団福祉法人への損害賠償請求は。

福祉課長

前理事長に対して、業務怠慢や不適切な業務執行に対して損害賠償の請求を行ったが、今年9月1日に前理事長の代理人弁護士から、請求には応じられないとの回答があった。

問

訴訟については。

福祉課長

やまびこ会の代理人弁護士に相談したところ、訴訟については現在、警察の捜査が進行中なので、12月頃までは様子を見ようとの助言があったので、現在、弁護士からの指示待ち状態である。

農業用水・排水路事業整備状況は

問

前目地区を流れている山手幹線水路が未完成である、事業計画はあるのか。

町長

この山手幹線水路は、平成19年度から平成21年度に前目地区の集落内をほぼ抜けた事から、完了と位置づけ現在、他のかんがい排水事業執行のため施工を終了しているとこ

ろである。

産業振興課長

残りの(216m)山手幹線水路については、他の地区における緊急を要する事業による調整が必要であり、その後検討していく。

問

住宅用地として開発が進む中、家庭汚水問題等対策をすべきでないか。

環境水道課長

河川等の水質改善の具体的な対策としては、下水道区域では、下水道接続推進のために受益者負担金の免除、個別相談会を実施している。下水道区域外においては、汲み取り、単独浄化槽からの切り替えを推進するため、合併浄化槽を設置する費用の、一部補助し河川水質の保全に取り組んでいる。

選挙法改正にともなう対策は

問

投票しやすい環境整備の改善されたことは何か。

選挙管理委員会

当日投票を町内のどここの投票所でもできるようにする等の公職選挙法の改正により、本町においても投票しやすい環境の整備

を検討していく予定であったが、その後、秋に開催予定だった臨時国会の、召集が見送られたことにより改正案の審議に至っていない。今後、国の動向を注視していく。



一般質問 指宿 秋廣 議員



質問

県道の補修に町から県へ積極的な依頼をするべきだ

都市整備課長

県の本課へ修繕の要望をしている

問

三股西小の近くの県道財部庄内安久線に、町の横断暗渠が原因の段差が生じていて、近隣住民の家にクラックが出来るなど大変な苦痛を与えている。そこで、県土木事務所と連携をとり、横断暗渠を町で布設替えを行い、県が表面の舗装を行うことで問題の解決をするべきではないか。

都市整備課長

県道の段差の原因は、道路を横断している暗渠の前後の沈下だと思われるため、その後道路管理者である都城土木事務所へ修繕のお願いをした。一部補修がされているのを確認しているが、今月初め土木事務所に確認したところ、宮崎県の本課に要望はしているとの回答を受けている。

問

県も予算の関係で、他の地域の工事をしていない、そのため補修工事が何回も行われその都度に広範囲に広がっている、町として今後どのようにこの問題を解決していくか。

町長

第7地区の地区座談会で、話があり、その後担当課で都城土木事務所と協議をした。また、別件で土

木事務所長が来庁されたので、直接に地域の方が困っていると話をした。今後も土木事務所にも要望を続けて町としても努力をしたい。

児童館の整備計画は

問

今市児童館は、老朽化が進んでいる児童館の今後建て替えるべきだと思いが考えはあるか。

福祉課長

三股西小の東側の用地に放課後児童クラブ室を平成28年度に建設する予定で、県に補助金要望をしている。現在の今市児童館は、児童クラブに通わない児童の遊び場として、また、今市自治公民館として地区に開放する地域福祉センターとして活用を考えている。現在のところ建て替えは考えていない。

問

三股中西側の町道に歩道の建設を

三股中学校の西側に歩道の建設をするべきだ、三股中学校を周回する歩道は、安全に中学校生徒の部活の運動がしやすい環境と、テニスコートの出入りが安全になる様に整備する考えはないか。



▲三股西小学校近くの県道財部庄内安久線

都市整備課長

歩道設置には、中学校の駐輪場、N T T敷地内地下埋設物、民有地の買取等課題も確認いたしました、学校等と協議し、検討したい。

一般質問 堀内 義郎 議員



質
問

殿岡生活改善センター協議結果はいかに

産業振興課長

継続の方向である

問

6月議会での質問は継続、拡充、経営委託と考えられ、秋口から当初予算の策定までには決めたことの事であったが、どう協議決定されたのか。

産業振興課長

施設の概要、利用者数、使用料金、利用状況、加工機器の状況など精査した。結果「今後も利用したい」と町民の声が強いこともあり、継続の方向とした。現状のままか指定管理へ移行するかの2点で、移行の場合は、年が明けてから委託料や条件を明示し公募することとなる。

農業政策は

問

TPPの大筋合意で、町内の農業に対する影響をどう考えるか。

産業振興課長

国は米の輸入枠拡大による価格の下落に対しては、備蓄用米の拡大を図り、牛豚肉は、徐々に関税が下がることに対し、セーフガードを導入し影響を抑えようとしている。しかし、発効後もさらなる引き下げを要求する可能性もあり、価格の下落や、長期・慢性的になる

恐れもあり、本町の農業生産に影響がないわけではない。今後県・JA等の関係機関と連携をとり対処していく。

問

将来への不安や後継者不足が深刻だが、町独自の対策を図るべきではないか。

産業振興課長

不安の声があがっていることは承知している。又、情勢は厳しいものとなると懸念している。TPP総合対策本部は「総合的なTPP関連政策大綱」をまとめ主要施策を発表したが、具体的な事業内容や規模が明記されておらず、今後提示されるものと思う。よって国や県、JA等の動きを注視し独自の対策も検討していくことになろうと考える。

教育の日・家庭の日の在り方は

問

10月に開催した「教育の日」文教みまたフェスティバル参加者の状況と今後の取り組み。併せてPTA役員表彰はおこなえないか。

教育長

194名の参加であった。10代、70代、学校関係者をはじめ、

問

昨年より参加者が少なかったのではないか。

教育長

土曜日と決めているが日曜日でもよいかと思う。地区座談会等でお知らせをお願いをしていきたい。



▲殿岡生活改善センター農産加工室

一般質問 楠原 更三 議員



質
問

総合戦略と町民憲章の関係は

町
長

計画はすべて町民憲章の精神を踏まえている

問

総合戦略案の中では、三股らしさを感じ取ることができない。町の基本方針を謳った町民憲章の精神との関係は。

町長

町民憲章はまちづくりのための重要な行動目標、基本的な方針であり、本町で策定する計画のすべてが、町民憲章の精神を踏まえたものとしている。

問

三股が今後とも単独であり続けるために、近隣市町村と明確に違う個性ある町づくりが表わされているか。

町長

本町のキャッチフレーズ実現の戦略が盛り込まれている。都城のベッドタウン的要素、交通の便の良さ等の個性を積み上げ、一つ一つを実現していくことが三股の個性につながる。

地域コミュニティ希薄化対策

問

将来的な課題であるコミュニティの希薄化への取組は。

福祉課長

町内で20か所サロンが立ち上がっている。この輪がコミュニティ

ティーの復活に繋がるよう普及に努めていきたい。

総務課長

自治公民館への加入推進に町としても積極的に取り組んでいる。災害弱者に関しても自治公民館で支援できる態勢をとっていきたい。

学力向上への検証と対策は

問

小中一貫教育において、学力の面での成果は。

教育長

教育の目的は、人格の完成である。検証については町民に感じてもらえるのだと思う。数字で表わせるものは持っていない。

問

今年度の全国学力調査でも県平均以下となっている。前年度も今年度も教育委員会はこの結果を分析し、取組の重点を定め、各校の実態に即して支援を行うところ。原因はどこにあると考えるか。

教育長

原因はいろんなところにあるが、これが原因だというものは言えない。学力向上のために結果を分析し、課題についての共通理解を図っていきたい。

文化財その後の動き

問

梶山城・都城東飛行場史跡の文化財指定にむけた進捗状況は。

教育長

梶山城は、本町にとっても貴重な歴史遺産であることを強調しながら用地購入交渉を継続する。今後は地権者に対して再度全体説明会を開催し又、梶山地区の活性化に向けて機運が高まるよう推進する。都城東飛行場跡については、聞き取り調査を実施中。三股の歴史の一部として、後世に伝えていく必要がある。

問

三島通庸公研究家から公の実績の原点は三股にあるといわれた。町制施行70周年にあたり、現在の形の三股を築き上げた人の代表者として三島公に光を当てた町おこしを考えてみてはどうか。

町長

三島公の再認識は十分に必要であり、70周年記念誌での位置づけも課題である。また、早馬神社内の記念碑の取扱いや三股小の胸像等にも光をあてていきたい。

一般質問 池田 克子 議員



質問

子育て支援にスマートフォンの活用を

福祉課長

情報配信に十分検討する

問

本年度から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしたことに伴い、保育をはじめとする様々な子育て支援に関する情報提供や相談・助言等を行う「利用者支援事業」の実施が求められている。その中に「子育て家庭の個別ニーズ」を把握するようにとある。

ニーズ調査とその結果は充分活かされているのか。

町長

この計画を策定するにあたり、平成25年10月から11月にかけてアンケートを実施した。7つの基本目標から分析した。

福祉課長

安心して仕事ができる場が確保され、我が子を守るため安全の確保や放課後児童の居場所等の要望が多かった。今後の子育て支援対策に役立てていく。

問

外部評価の満足度は低く、評価されていない。今後5年間に策定された事業が高く評価されるよう実績として取り組むべきでは。

町長

子育て支援は全体的な取り組みである。連携をとりながら子育て世帯の充実に対応していく。

問

支援事業であるファミリーサポートセンター事業の現況は。

福祉課長

現在の提供会員は56名、依頼会員235名、両方会員29名、10月末までの活動件数は95件。

問

提供会員をふやすための活動費の予算は検討しているのか。

福祉課長

来年度の実施計画で子どもを預ける人と預けたい人の調整を行うため補助の予算を組んだ。

問

時間や場所にとらわれず利用できるスマートフォンで、子育てに関する支援情報を提供できないか。

福祉課長

子育て世代の約84%が利用し、24時間いつでも情報取得の可能なスマホを使つての情報配信は今後、十分検討したい。

給食センター内の環境整備を

問

給食センターの重要課題の中にアレルギー食材を除いた「除去食」と食中毒に関することがある。「除去食」の気配りも大変だが、1年通して高温多湿の室温には菌の繁殖と労働環境を危惧する。センター内の衛生管理対策は万全か。

教育課長

学校給食衛生管理基準の遵守を第一とし、衛生管理の徹底と職場環境の改善を図るとともに食中毒の防止に努力していく。

問

第5次総合計画の実施計画では、平成28年度に「調理室空調機設置設計・工事費」が計上されている。何月頃の着工となるか。

町長

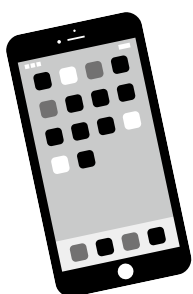
事務事業評価の中で上がっていない。来年は無理かと考える。

問

給食センターの建替予定は。

教育課長

当施設は24年経過し老朽化していることから今後、長期計画の中で検討していく。



一般質問 福田 新一 議員



質問

地方創生への取組状況を具体的に

企画政策課長

「総合戦略」内容を町民へ回覧広報 予定（28年2月）

問

地方創生への取組状況報告を。

企画政策課長

27年10月23日、「総合戦略」最終案を全員協議会にて説明し、10月26日、推進本部会議にて「三股町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。10月29日、内閣官房へ提出し、11月10日、国の交付が決定した。（1000万）28年2月「総合戦略」内容を町民へ回覧広報予定。3月5日、文化会館にて地方創生の講演会開催予定である。

地場産品ならびに6次産業化とは

問

基本目標「しごとを元気にし、若者が安心してはたらくるみまたをつくる。」地場産品の高付加価値化（ブランド化）6次産業化による販売力の強化の内容は。

産業振興課長

地場産品とは、ゴマ、牛肉、新野菜（プチベール）等あるが、駅前のおかもんやで確認できる。6次産業化とは1次生産、2次加工、3次販売、1次×2次×3次にて6次となる。1次生産がゼロだとトータルゼロの関係にあり6次は成り立たない。近日、商工会にて加工関係の研修会を計画している。

各企画の具体的な日程を

問

みまたのPR推進の現状は。

企画政策課長

ふるさとPR推進事業は11月10日に国の交付決定を受け現在事業に着手した。28年1月16日、17日にJR大阪駅に於いて観光、PRイベントを開催する予定。

問

大学との連携事業の進捗状況は。

企画政策課長

28年度より取り組む。大学側との具体的な協議はこれから。

問

長田地区魅力化プロジェクトの計画内容は。

企画政策課長

28年度より地域の方々、地域おこし協力隊、大学生などと一緒に長田地区の魅力化について色々な視点から探って行きたい。

問

PDC Aサイクルのチェック内容は。

PDC Aサイクルによる検証が必須

企画政策課長

PDC Aサイクルの検証は庁内組織である三股町地方創生推進本部と住民代表や外部有識者からなる三股町創生推進会議が連携しながら実施。進捗状況の点検確認作業は推進本部の事務局である企画政策課が行う。

問

韓国や都会からの野球部キャンプに備えての受け入れ態勢はいかに。

教育長

旭ヶ丘運動公園野球場にバッティングゲージ2台とピッチングマシン1台を設置し合宿の受け入れ態勢を整えた。現在韓国の高校野球部と合宿について調整中。さらに県外の大学や高校野球部の合宿誘致を行い利用促進を図っている。

町長の心構えは

問

新年28年に向かつての町長心構えを。

町長

地方創生をはじめ旭ヶ丘運動公園野球場の利用促進も含め、様々な計画に対し人員配置も考慮しながら、スピード感を持って、早め早めにスタートをきる体制づくりを行い計画を実現していきたい。

お隣さん、元気

つながりを知る

中原自治公民館



岩元 兼夫 館長



中原自治公民館は…

中原自治公民館では、中原地区に住んで良かったという地域作りをめざしています。中原地区のみんなが平等で、全員が主役！活力ある地域としている。いろいろな活動に参加し、お互いに親睦を深めましょう。高齢者の方から若い人まで、みんなで力を合わせより良い地域社会を築いていきましょう。

◀高齢者と子どものふれあいの集い



70歳以上一人暮らし世帯へのプレゼント▲

花見原自治公民館



竹元 仁伍 館長



花見原自治公民館は…

花見原地区では、住民みんなが仲良く安心して暮らせる住み良い街づくりを進めています。あなたも自治公民館の一員として公民館活動に参加しませんか。高齢の方から若い人までみんなで力を合わせ、より良い地域社会を築いていきましょう。

◀交流を深めたボウリング大会



花いっぱい運動で咲いた路地の花▲

自治公民館を中心に、子ども会、壮年会等、きっと活躍できる場所があります。隣近所の方々との親睦で、安心できる住みよい街にしましょう。

自治公民館加入案内
三股町・三股町自治公民館連絡協議会
電話 52-1111 内線 1801



編集後記

新年2016年を迎えました。早速1月5日には文化会館で成人式が、執り行われ、356名の新成人が誕生しました。同日、三股町体育館で、町内の経済や行政関係者約150名が、賀詞交換会を兼ねた新春あいさつ会が開かれ、今年一年の町政や経済の発展を誓い合いました。

本町人口は微増傾向ではあるが高齢人口、高齢化率が増えていくのも確実です。このような状況のもと、地方創生も、総合戦略として、本格的に展開されだします。私たち議員12名も自ら、町民の見本となる行いにつとめ、将来像である「自立と協働で創る元気なまち三股」めざして議員の役割を果たしていきます。町民の皆様、議会にさらなる関心を持っていただき、ともに新生みまたづくりに、取り組ましましょう。

議会広報編集常任委員会



委員長	内村 立吉
副委員長	堀内 義郎
委員	重久 邦仁
委員	福田 新一

発行責任者／福永 廣文